

泌尿器科を来月再開

四万十市民病院

常勤医が着任

1年半ぶり

【幡多】医師が確保
できず休診していた四
万十市立市民病院（同
市中村東町1丁目）の
泌尿器科に9月から、
常勤医師が着任し、1
年半ぶりに診療を再開
する。13日開かれた市

議会教育民生常任委員
会で、同病院事務局が
報告した。

同病院は内科、外科、
整形外科、脳神経外
科、泌尿器科の5診療
科。臨床研修制度の影
響などで、常勤医が年

々減り、2007年に
は夜間救急の受け入れ
を中止している。

泌尿器科は06年に常
勤医師2人が退職し、

非常勤医師で対応して
いたが08年夏に休診。

10年2月に再開したも
の、医師が確保でき

ず11年4月から再び休
診していた。

新たに着任するの
は、市が以前から働き

掛けをしていた中尾
昌宏医師（58）。同市

出身で、現在は京都府
南丹市の医療系大学
の教授。専門は泌尿器
腫瘍学や排尿障害な
ど。

高齢化が進む四万十
市では、泌尿器科の需
要は高く、中尾医師は
「気軽に足を運んでほ
しい。外科の医師とも
連携して手術も行いた
い」と意欲を見せてい
る。

（楠瀬慶太）